

★学校の教育目標 「未来を創造する子」 ◎自ら考え学ぶ子（重点目標） ○思いやる心をもち、行動する子 ○健康でたくましい子		★重点計画の概要 日野市第3次学校教育基本構想に基づき、学校経営目標を「みんなに居場所や出番がある学校」とし、「いのち」を守る・対話でつながる・未来を創造する児童を育む。
★目指す学校像（ビジョン） 未来を創造する子：「創造力」「対話力」「自己有用感」 ◎自ら考え学ぶ子（重点目標）：「基礎・基本となる力」「課題発見解決力」「表現力・発信力」 ○思いやる心をもち、行動する子：「豊かな感性・創造性」「人間関係形成力」「自己肯定感」 ○健康でたくましい子：「心身ともに健康な体・行動力」「社会貢献力」		
【めざす児童・生徒像】	【めざす学校像】 みんなに居場所や出番がある学校	
【めざす教師像】	○ すべての“いのち”を守り、育む教師 ○ 子供一人一人を大切に温かい学級をつくる教師 ○ 地域をステージにした、主体的で対話的な深い学びを展開できる教師 ○ 特別支援教育の専門的な知識や技能を身に付けた教師	

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	
				取組指標	成果指標
いのち	自分自身を大切にし、人の気持ちを考え、優しさと思いやるの心をもち行動できる児童の育成。	様々な人と関わる体験を重ねることにより、互いに思いやりや助け合う態度を育み、いじめをせず、自他の命や多様性を尊重し、自己肯定感を高める教育活動を実践する。	特別な教科道徳、特別活動、総合的な学習の時間を中心に、児童が互いの存在をあたたく認め合い、明るく自信をもって自分を表現していく教育活動を行う。	4 学期に1回以上「いのち」をテーマにした時、児童の自己肯定感が高まったりする授業に取り組んだ教員が90%以上	4 「自分や周りの人を大切に生活しようとする気持ちが高まった」と答えた児童が90%以上
				3 学期に1回以上「いのち」をテーマにした時、児童の自己肯定感が高まったりする授業に取り組んだ教員が80%以上	3 「自分や周りの人を大切に生活しようとする気持ちが高まった」と答えた児童が80%以上
				2 学期に1回以上「いのち」をテーマにした時、児童の自己肯定感が高まったりする授業に取り組んだ教員が70%以上	2 「自分や周りの人を大切に生活しようとする気持ちが高まった」と答えた児童が70%以上
				1 学期に1回以上「いのち」をテーマにした時、児童の自己肯定感が高まったりする授業に取り組んだ教員が70%未満	1 「自分や周りの人を大切に生活しようとする気持ちが高まった」と答えた児童が70%未満
			校内委員会、特別支援コーディネーター、いじめ対策委員会、スクールカウンセラー等と連携し、組織的ないじめの未然防止、早期発見、早期解決を図る。 生活アンケート（4月、9月）とふれあい月間のいじめアンケート（6月、11月、2月）を行い、気になる児童への丁寧な聞き取りと、全職員での早期対応を行う。	4 全員の教職員が、いじめアンケートの丁寧な聞き取りと分析、対応を行った。	4 友達にいじめや意地悪なことをせず、仲良くすることができた児童が90%以上。
				3 いじめアンケートの丁寧な聞き取りと分析、対応を行った教職員が95%以上。	3 友達にいじめや意地悪なことをせず、仲良くすることができた児童が80%以上。
				2 いじめアンケートの丁寧な聞き取りと分析、対応を行った教職員が90%以上。	2 友達にいじめや意地悪なことをせず、仲良くすることができた児童が70%以上。
				1 いじめアンケートの丁寧な聞き取りと分析、対応を行った教職員が90%未満。	1 友達にいじめや意地悪なことをせず、仲良くすることができた児童が70%未満。
学び	日野市第3次学校教育基本構想に基づき教育活動を行い、みんなに居場所や出番のある学校をつくる。	一律一斉の学びから、自分を知り相手を知り、自分たちで考え、語り合いながら生み出す学び合いと活動を実践する。	地域をステージとした生活科・総合的な学習の時間の学習を中心として、対話的活動を展開することで、児童の課題解決力を高め、他者との協働性を育む。	4 授業や家庭内での対話的活動を通して、児童の課題解決力・表現力の向上に取り組んだ教員が90%以上	4 「自分の考えをもち、進んで話すことができた。」と答えた児童が90%以上
				3 授業や家庭内での対話的活動を通して、児童の課題解決力・表現力の向上に取り組んだ教員が80%以上	3 「自分の考えをもち、進んで話すことができた。」と答えた児童が80%以上
			授業、家庭学習を通して、一律一斉の学びから自分に合った多様な学びと学び方の習得をする。	2 授業や家庭内での対話的活動を通して、児童の課題解決力・表現力の向上に取り組んだ教員が70%以上	2 「自分の考えをもち、進んで話すことができた。」と答えた児童が70%以上
				1 授業や家庭内での対話的活動を通して、児童の課題解決力・表現力の向上に取り組んだ教員が70%未満	1 「自分の考えをもち、進んで話すことができた。」と答えた児童が70%未満
健康	心身共に健全な行動力・体力の向上を図り、児童の健康を増進する。	体を動かす楽しさ・心地よさを味わわせる取り組みを充実させることにより、生涯スポーツの態度を養うとともに、健康で安全な生活を送るための資質・能力を育む教育活動を実践する。	パワーアップタイム（年3回）と、中休み、週1回のロング昼休み等日常的な運動遊びを通して、スポーツに親しむ健康な子を育てる。	4 体力・運動能力の向上を意識した授業や活動に取り組んだ教員が90%以上	4 「自分からすすんで、身体を動かす活動に取り組むことができた」と答えた児童が90%以上
				3 体力・運動能力の向上を意識した授業や活動に取り組んだ教員が80%以上	3 「自分からすすんで、身体を動かす活動に取り組むことができた」と答えた児童が80%以上
				2 体力・運動能力の向上を意識した授業や活動に取り組んだ教員が70%以上	2 「自分からすすんで、身体を動かす活動に取り組むことができた」と答えた児童が70%以上
				1 体力・運動能力の向上を意識した授業や活動に取り組んだ教員が70%未満	1 「自分からすすんで、身体を動かす活動に取り組むことができた」と答えた児童が70%未満
地域	地域とつながる教育活動を通して自己有用感を味わわせ、社会の一員としての自覚と実践力の育成を図る。	地域参画型の教育活動や地域人材を活用した体験学習等、地域をステージとした学びを充実させ、保護者・地域と共に関わることが増えていく環境をデザインする。	総合的な学習の時間や生活科等、SDGsカレンダーに基づき教科横断的に学びの充実を図り、持続可能な社会の実現に向けて地域と連携して教育活動に取り組む。 ・1・2年生は、地域の方々から生き物や学級園での植物との触れ合い等について学び、学習のまとめを発表する。 ・3・4年生は、地域の方々から生き物や学級園での植物の育て方等について学び、学習のまとめを発表する。 ・5年生は、地域の方々から田植え作業の流れを学び、実践、学習のまとめを発表する。 ・6年生は、地域の課題を知り自分たちでできることを考え、活動することで地域愛を育み、地域の方々へ発信する。	4 地域人材と連携を図り、自然体験や稲作体験、学年園活動に取り組んだ教員が90%以上	4 「自然や植物について地域の方と一緒に学び、学んだことを地域や家庭へ発信できた。」と答えた児童が90%以上
				3 地域人材と連携を図り、自然体験や稲作体験、学年園活動に取り組んだ教員が80%以上	3 「自然や植物について地域の方と一緒に学び、学んだことを地域や家庭へ発信できた。」と答えた児童が80%以上
				2 地域人材と連携を図り、自然体験や稲作体験、学年園活動に取り組んだ教員が70%以上	2 「自然や植物について地域の方と一緒に学び、学んだことを地域や家庭へ発信できた。」と答えた児童が70%以上
				1 地域人材と連携を図り、自然体験や稲作体験、学年園活動に取り組んだ教員が70%未満	1 「自然や植物について地域の方と一緒に学び、学んだことを地域や家庭へ発信できた。」と答えた児童が70%未満

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。